

議案第 1 号

県立図書館の移転及び整備に向けた基本方針について

県立図書館の移転及び整備に向けた基本方針を別紙の通り定める。

平成26年1月15日

沖縄県教育委員会

(別紙)

県立図書館の移転及び整備に向けた基本方針

I 移転場所

那覇市泉崎1-20-1 (那覇バスターミナル地区)

II 設置の規模

1 想定延べ床面積 15,000㎡程度

2 想定収納蔵書冊数 216万冊程度

3 新県立図書館の機能

(1) 沖縄県の中核図書館

- ①誰でも利用できる利便性の高い閲覧・貸出機能
- ②琉球・沖縄の情報・研究拠点機能
- ③図書・資料の保存・管理機能

(2) 沖縄県の専門図書館

- ①子どもの読書活動推進機能
- ②課題解決や多様な学習への支援機能
- ③市町村支援機能

(3) 未来に向けた図書館

- ①図書館情報ネットワーク・電子図書館機能
- ②県民参加・交流・情報発信機能
- ③国際性豊かなサービス機能

4 新県立図書館の空間構成

(1) 書齋ゾーン

- ①一般閲覧エリア
- ②子ども読書活動推進エリア
- ③ビジネスエリア
- ④郷土資料エリア

(2) 交流ゾーン

- ①エントランス・交流エリア
- ②ホール・研修エリア

(3) 管理ゾーン

- ①館外協力エリア
- ②管理運営エリア
- ③書庫エリア

III 移転予定年度 平成30年度

議案提出の経緯及び必要性

課名 生涯学習振興課

現県立図書館の老朽化等の現状を踏まえ、県立図書館の施設整備の必要性等について、沖縄県社会教育委員の会議に、「知の拠点としての図書館の果たすべき役割について」を諮問し、平成 25 年 3 月に答申を受けた。

また、平成 25 年 7 月には新県立図書館基本構想検討委員会に、新図書館の目標像や移転候補地等について「新県立図書館基本構想」として諮問し、同年 8 月に答申を受けている。

基本構想では「那覇バスターミナル地区」（複合施設）が最有力候補地と位置付けられているが、同地区の市街地再開発事業の事業認可申請は平成 26 年 2 月に予定されているため、県教育委員会として、「那覇バスターミナル地区への県立図書館の移転」及び「設置の規模」等について決定する必要がある。

